

## 第56回（令和4年度）兵庫県立播磨特別支援学校入学式 「式辞」

例年になく寒さが厳しかった冬に変わり、ここ三石山のふもとに広がる本校の校庭には、ひらひらと桜吹雪が舞い、この前まで咲き誇っていた桜花とのあでやかな競演の様子を見ることができます。

春の季節の移ろいが感じられる今日のよき日、PTA会長様、同窓会長様、そして、保護者の皆様のご臨席を賜り、兵庫県立播磨特別支援学校 第56回入学式が挙行できますことを、心から感謝し厚くお礼申し上げます。

ただいま入学を許可しました普通科3名、本年度より職業科改め新学科の総合ビジネス科2名、そして就業技術科32名、合わせて37名の入学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を教職員ならびに在校生と共に心から祝福し歓迎いたします。

今、皆さんは、入学の喜びと未来への希望に胸を膨らませていることと思います。

この喜びの陰には、皆さんを慈しみ、大切に育ててこられた保護者の皆様、そして、あたたかく時には厳しく指導して下さった中学校・中学部の先生方など、多くの方々の力添えがあったことに、感謝の気持ちを忘れてはいけません。

保護者の皆様、このたびはお子様のご入学、誠におめでとうございます。高い所からではございますが、心よりお祝いを申し上げます。この2年間コロナ禍もあり、お子様の中学校・中学部での生活は決して平坦なものではなかっただろうとお察しいたします。前代未聞の長引く臨時休校、学校行事の中止や変更もありました。学業や学校生活への心配、さらに、自粛や制限によるお子様の感染防止対策、健康管理などご心労も大きかったと思います。それだけに本日お子様のお姿をご覧になり感慨も一入のことと存じます。

本校は、昭和42年の開校以来、半世紀以上の歴史と伝統を重ねた特別支援学校です。本年度で56回目の入学式を迎えることとなりました。現在、本校は、普通科、職業科（本年度より総合ビジネス科に改編）、就業技術科の三つの学科を有し、校訓「自立・友愛・創造」の精神のもと、自らの夢や目標におかかって積極的に挑戦し、人生を自らの意志で切り拓き、たくましく生きていく生徒像をめざしています。

さて、県内各地から集まった皆さんは、通い慣れた地域の学校を離れ、いよいよ本日、本校の一員として新たな学校生活が始まります。今、緊張と不安、期待でいっぱいのことと思いますが、本校での三年間に皆さんにめざしてほしいこととお話します。

それは、校訓「自立・友愛・創造」の精神を、いつも心の指針として生活してほしいことです。

そのひとつ、「自立」に向かってほしい。

皆さんは、本校で、就労や進学をめざす、あるいは、資格・検定取得をめざすなど、それぞれに志をもって入学したことと思います。本校のオープンスクール、学校説明会、

入学相談などに早くから参加し中学校での進路決定をした人も多いことでしょう。ぜひ、その気持ちを忘れず、将来の社会自立をめざしてください。

そのためには「なりたい自分」は何かを考え、「自らの高み」をめざしてください。本校での学びを大事にして、昨日よりも今日、今日よりも明日と、ステップアップを図ってください。そして、自分の「できる」ことを増やしていきましょう。

次に二つ目は、「友愛」の心を大切にしてほしい。

人は人との関わりの中でこそ成長できます。人が出会う確率は天文学的な数字になり奇跡に近いと言われます。「一期一会」という言葉もあります。本校三年間での同級生・先輩や後輩・教職員との出会い、実習や体験学習など社会や地域の方々との出会いなど、多くの人との出会いを通して、豊かなコミュニケーション力を身につけてください。

「思いやり」や「やさしさ」、「感謝の心」など豊かな心の成長を願うのと同時に、お互いに尊重し、お互いに認めあい、高めあえる人間関係を築いてくれることを願っています。その第一歩として、「挨拶」の励行をお願いします。本校生徒会のスローガン「元氣よく 挨拶すれば 笑顔咲く」を実践できる生徒を目指してください。

そして三つ目、「創造」していく力を身につけてほしい。

これは、「新たなことや未知なることに挑戦し、さらに新しいものを創り上げていく力」のことです。今、コロナ禍で大変な社会状況にありますが、「令和」という新時代を担って生きていくのは皆さんの世代です。未来を切り拓き、明日を生き、豊かな人生とするためには、「生きる力」が必要になります。本校三年間の学びを通してこの土台・基礎となる部分をしっかりと身につけていってください。

みなさんが、本校の校訓の三つの言葉を胸に、自分らしく有意義で素晴らしい学校生活を送ることを期待しています。

保護者の皆様、お子様にとっては、本校でのこれからの三年間は、「自立」において自分の人生のあり方を模索し、将来の道筋を決める大切な時期になります。私たち教職員も、お子様の成長と自立におけ、必要な資質や能力を伸ばすことができるよう、全力で指導・支援させていただきたいと思えます。どうか、本校との連携を密にさせていただくとともに、本校教育に対しまして、格別のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、御多忙の中、御臨席賜りましたご来賓ならびに保護者の皆様に改めて感謝申し上げます、式辞といたします。

令和4年4月11日

兵庫県立播磨特別支援学校  
校長 下雅意 一之